

PRESS RELEASE ( 報道関係者各位 )

2002 年 6 月 10 日

**2001-2002 年度国内 PC ( IA ) サーバ出荷状況調査報告**

ノークリサーチ ( 本社〒124-0001 東京都葛飾区小菅 4-12-5 ; 代表伊嶋謙二 03-5629-2163、  
URL : <http://www.norkresearch.co.jp> ) では 2001 年度の国内 PC ( IA ) サーバの出荷状況を調査した。2002 年度の予測も併せて調査、報告している。

**<2001 年度 PC ( IA ) サーバ市場のポイント>**

**2001 年度 PC ( IA ) サーバ市場は安定高成長を持続**

- 対前年比 15.7%アップで、330,300 台の市場へ
- 金額市場は横ばい。低価格サーバの伸び堅調で裾野拡大

メーカシェアに大きな変動。NEC1 位、2 位富士通にデルが急接近

インターネット関連とエントリサーバ需要 ( 中堅・中小企業、ISP ) などの IT インフラの投資意欲が依然として高い。目立つサーバのコモディティ化で複数台導入進む。E ジャパン構想で自治体・教育市場が堅調。国産ベンダの好調を支える。

ラック ( 薄型 ) サーバ急増で、全体の 40.5% を占める。ブレードは 02 年度以降の目玉。

Windows2000 のハイパフォーマンス化でミッションクリティカル分野で堅調

2002 年度は若干伸び率鈍化も 10% 増の 363,500 台と見込まれる

**対象期間 :** ( 2001 年度実績 ) 2001 年 4 月から 2002 年 3 月

( 2002 年度予測 ) 2002 年 4 月から 2003 年 3 月

**対象メーカ :** 電子情報技術産業協会 ( JEITA ) 自主統計参加及び未参加メーカ  
日本電気、日本 IBM、富士通、コンパックコンピュータ、  
日立製作所、日本 HP、東芝、三菱電機、デルコンピュータなど

**対象機種 :** 電子情報技術産業協会 ( JEITA ) 定義に準ずる

**調査方法 :** 当該メーカに対する直接取材及び弊社データベースによる分析

**調査期間 :** 2002 年 5 月 ~ 6 月

**[2001 年度出荷状況]**

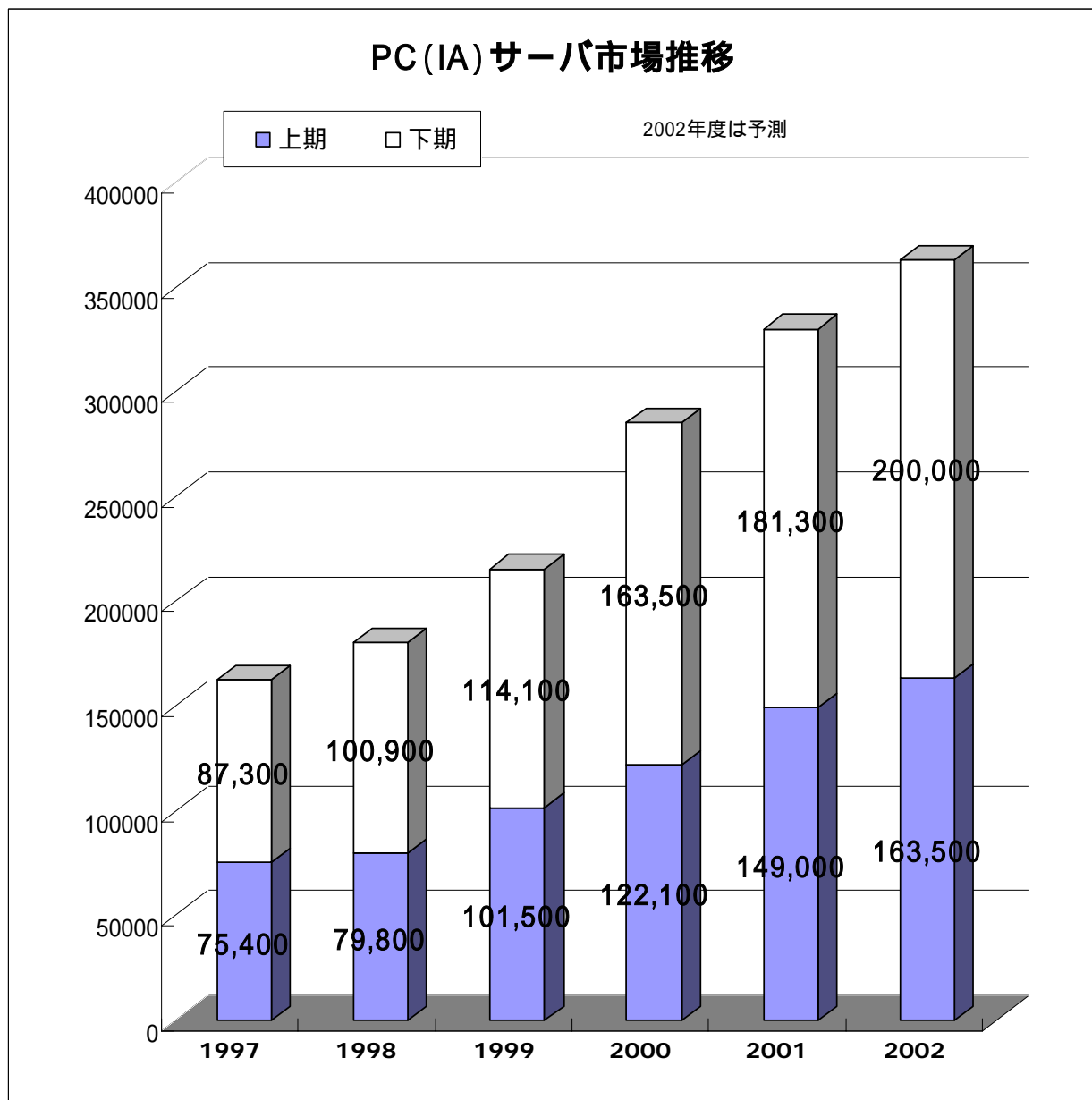
**- 対前年比 15.7%アップで、330,300 台市場へ -**

2001 年度トータルでは経済環境全般の冷え込みの中、IT 基盤の整備機運に支えられる格好で、PC サーバ市場は 330,300 台、対前年比 15.7% の伸びを示した。上期は台数で 149,000 台、前年対比 22.0% 増で、下期は 181,300 台と前年対比 10.9% 増であった。上期は中堅企業のインターネット需要を中心とするサーバ需要と官公庁、自治体など広範囲の出荷が目立った。また xSP などへの大型設備投資が全体を引っ張り、対前年比 22% アップの高い伸びを示した。下期は一転して低い投資傾向が民間需要に表れて出荷が停

滞したが、好調なエントリ系や自治体などの大口受注に支えられた格好となった。

### PC (IA)サーバ総出荷台数推移/予測 (97年度から2002年度)

	上期	前年同期比	下期	前年同期比	合計	前年比
1997年度	75,400	151.4%	87,300	124.0%	162,700	135.4%
1998年度	79,800	105.8%	100,900	115.6%	180,700	111.1%
1999年度	101,500	127.2%	114,100	113.1%	215,600	119.3%
2000年度	122,100	120.3%	163,500	143.3%	285,600	132.5%
2001年度	149,000	122.0%	181,300	110.9%	330,300	115.7%
2002年度	163,500	109.7%	200,000	110.3%	363,500	110.1%



一部地域や製造業など不調業種で出荷が低迷したが、全般的には中堅・中小企業などの IT インフラの整備意欲は下期に入ってから堅調に推移し、また単価の低下傾向が

ますます購入意欲にドライブをかけた。また政府関連の予算措置関連での需要も堅調だった。特に官公庁、自治体、教育関連などに安定した需要が生じている。2001 年度をまとめると次の 5 点。

インターネット関連の情報系利用は相変わらず堅調に推移

中小企業でのエントリサーバの導入意欲が活発

中堅・中小企業のアドオン、専用サーバ拡大。1 社あたり 5.2 台の導入台数

ASP、IDC、ISP などのインフラ投資での需要は好調を維持

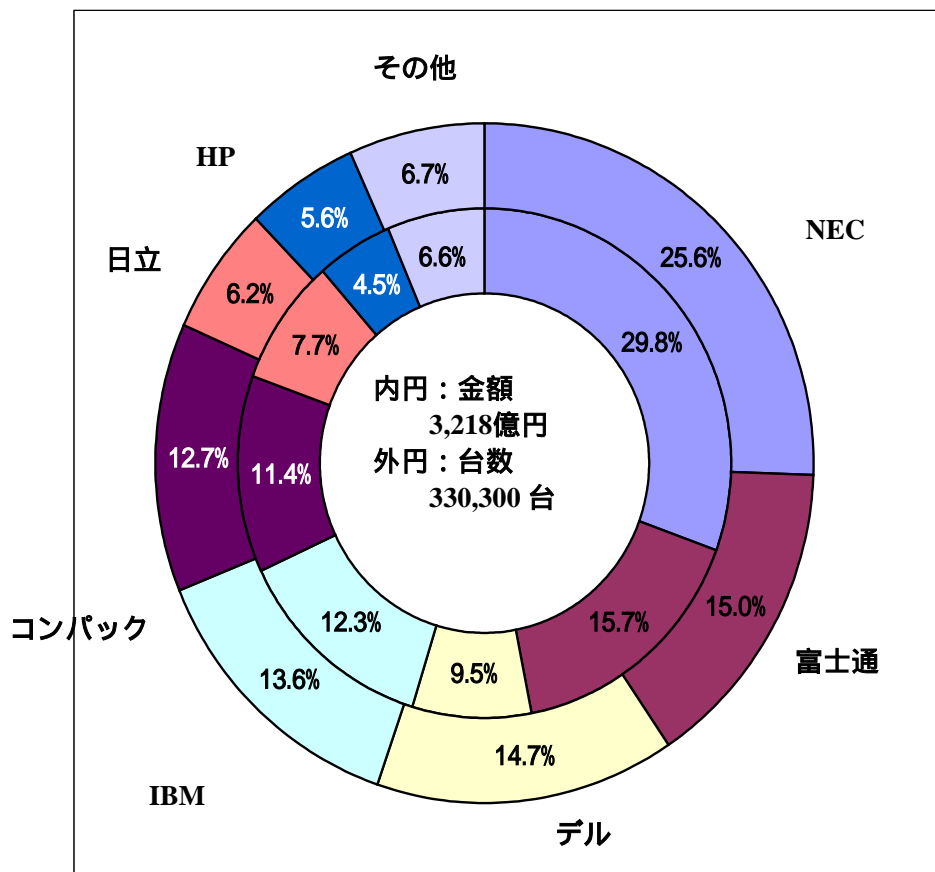
自治体や学校関連のサーバ需要は堅調

## 【2001 年度メーカーシェア】

### - シェアマップも混沌。NEC トップだが、2 番手富士通にデル並ぶ

メーカーシェアでは NEC が依然トップ。25.6% のシェアで 2 番手以下を大きく引き離している。チャンネル販売（地域販売店）と安定した直販力と幅広い製品対応、多くの既存ユーザの実績による安定感が同社の強みだ。特に全国のチャンネルでの中堅・中小企業向けのエントリ系サーバの展開と基幹系システムの攻略という地味だが確かな展開で、着実にシェアを維持向上している。

2 番手は NEC と並んでチャンネル販売と自治体や大手企業への直販で安定した富士通が 15% で続く。NEC、富士通は自治体向けの地域の安定した受注活動が目立った。あわせてチャンネルによる地道な販売が底支えをしている。IBM は昨年度のローソンのような目立った大型案件はなかった。注目されるのがデル。上期に IBM を抜いたデルが、年度ではわずかながら富士通に及ばないが 3 番手で 14.7%。逆にコンパック、HP は上位メーカーに押され気味でシェアは低迷している。

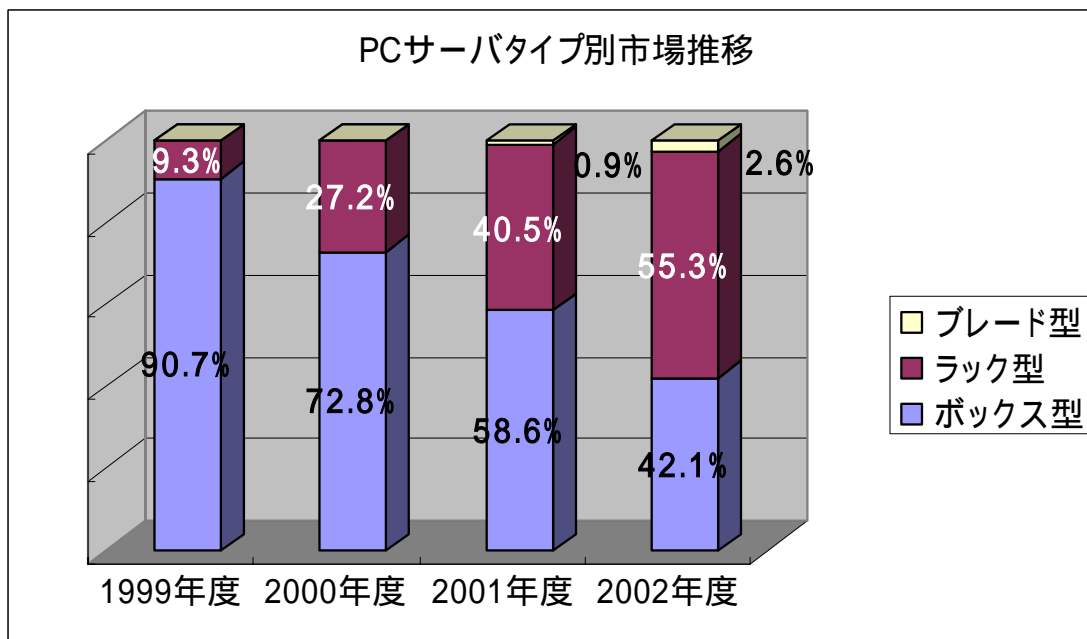


**[2002 年度市場展望]****- 対前年比 10.1%の伸び、363,500 台 -**

2002 年度は引き続き業種や地域によって景気の影響を受けてまだら模様の出荷状況になると思われるが、低価格サーバを中心とする中堅・中小企業向けのソリューション特にインフラ系の導入がまだまだ活発だ。また形態的にもラックマウントタイプは好調に推移しており、企業規模に関係無く安定的に需要が拡大するだろう。ラックマウントタイプは 2002 年度全体で 55.3%を占めることが予測される。また Linux は個別のソリューションでは実績は少ないが、インターネット系での一括大量システムなどでは実績をあげつつある。今期は 10%程度の割合であったが、年度では 12%程度のウェイトを示すだろう。

またミッションクリティカルな分野でも IA64 搭載のハイエンドマシンの登場で、好調な UNIX と競合することになるだろう。また科学技術系やクラスタ、フォールトトレラントなどの分野も今期の有望な市場だ。大規模から小規模までの PC ( IA ) サーバとしての守備範囲は 2002 年に拡大が予想される。特に各メーカーから出荷を開始したブレードタイプも科学技術系利用中心に 1 万台程度の出荷が見込まれる。

2002 年度は景気の回復が下期以降に持ち越される可能性が高いため、2001 年度対比 10.1%増の 363,500 台と予測される。



当調査データに関するお問い合わせ

*Superior Market Research  
and Analysis  
For IT-Strategy*  
**Nork Research Co.,Ltd**

ノーク・リサーチ

担当：伊嶋 謙二

e-mail: [pressr@norkresearch.co.jp](mailto:pressr@norkresearch.co.jp)

〒124-0001 東京都葛飾区小菅 4 - 12 - 5 - 502

電話 5629 - 2163 FAX 5629 - 2164

URL: <http://www.norkresearch.co.jp>